

## まちづくり懇談会議事録

日 時：平成 30 年 11 月 8 日（木） 9：58～0：04

場 所：御園公民館

出席者：8 人

1. 開会
2. 町長挨拶  
※資料確認
3. 説明事項  
(1) 栗山町第 6 次総合計画後期実施計画策定について（資料①・②）  
※質疑応答
4. 懇談  
(1) 栗山町が直面する主な課題について（資料③）  
※質疑応答
5. 閉会

### 《懇談会内容》

質疑：高齢運転者の免許証返納で、免許証を所有していない配偶者も同様の助成を受けられるか。

（祖父が免許証の返納を考えている）

町長：免許証を所有している者のみが対象。現時点での考えでは配偶者は盛り込んでいない。

意見：育成会に関して、イベントなどの際の手伝い要請で、PTA 枠、町内会・自治会枠、育成会枠のそれぞれに割り当てがあり、農村部ではほぼ全員が参加することになるなど負担が大きい。市街地からも人手を出してもらうためにも、再編なども含めて育成会をきちっと整備してほしい。

質疑：新規就農で、現在までに多数の受け入れをしたと思うが、これまでの結果の検証やそれを踏まえた栗山町独自の指針などはあるのか。（昨年度の農業振興公社でも新規就農受入側の説明会では、道の指針での説明を受け、栗山町独自の指針はないと説明を受けた）

産業振興課：農業振興公社に確認する。近々、農業振興公社の懇談会があるので、その時までには回答できるようにする。地域の声も聞きながら指針を作る必要があると考えている。

意見：新規就農者の研修期間で学ぶ内容に関して、適正であったかそうでなかったかの検証は行ってほしい。新規就農者といっても目指すスタイルはさまざまであるので、受入時点でスタイルを見極め、それぞれに合った研修を行えば良いと思う。（このような要望は今回で 3 回目であるが、過去 2 回は回答がなかった。）

産業振興課：検討する。何らかの形で回答する。

質疑：長期の計画であるが、記載されている事業を途中でやめるという選択肢はあるのか？

町長：毎年政策評価を行っている。記載されているからと言ってそのまま必ず実施するというものではなく、毎年の政策評価などで内容を見直す場合もある。

質疑：商店街新店舗開店時の補助で、開店後の検証は行っているのか。3 年～5 年程度の期間は

検証する必要があるのでは。

町長：開店の1年後に必要な経費の補助をしているが、現在深刻化している商店街空き店舗の新規開店のきっかけに対する補助と考えている。すぐに閉店とならないように、今後は審査などにもさらに力を入れて行う必要がある。

質疑：幼稚園や小学校の授業料・給食費・医療費の助成制度の内容を知りたい。

町長：本町では、小学生から高校生までの医療費を無料にしている。

教育委員会：授業料は、小中学生は費用がかからない。給食費は、生活保護の方と生活保護基準の3割までの所得以下の方は無料である。

意見：幼稚園や小学校の授業料・給食費・医療費の助成制度がわかりにくく、聞かれた際に説明ができない。一律の助成の方がわかりやすい。

教育長：就学援助は負担を均す考え方である。

町長：これらの制度は困っている方への助成であり、一律助成はするべきではないと考えている。

質疑：御園神社は、桜の名所としてテレビや雑誌などでも紹介され、多くの人が訪れる場所となっており、維持管理の必要性を地元としても強く感じているが、ここ数年、強風による倒木も相次いでおり地域の限られた予算で対応するのも厳しいと感じている。神社仏閣は町で対応するのは難しいと思うが、桜並木の参道は公共的なものとして対応してもらえないか？

町長：地域の公共施設は助成制度がある。神社仏閣はおっしゃるとおり、町での対応は不可能。観光の名所という位置づけであればブランド推進課と協議することとなる。

質疑：秋祭りは助成しているのか。

町長：今年度より実行委員会を立ち上げて実行委員長が私である。神社のイベントへの助成ではなく、観光イベントとして350万円ほど助成をしている。

質疑：御園神社に関する相談窓口はどこか。

まちづくり総括：入り口としては私にまずご相談願いたい。